

一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校



茂木の風

「起こせ茂木の風 ～挑戦と感動～」

長崎市立茂木中学校
学校だより 第10号
令和7年7月 7日

文責 校長 野田 希世美

命と向き合う1週間ご協力ありがとうございました

今年も「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では子どもたちに「あなたがどんなに大切な存在であるか」ということを実感できるように、いろいろな角度で命と向き合う時間をとりました。地域の皆様や保護者の皆様にはご協力をいただき、本当にありがとうございました。

校長講話～初日に子どもたちに伝えたこと～

①命には限りがある。

今日のこの瞬間が明日も来年も続くかどうかは誰にもわからない。命には限りがあり、その終わりはいつ来るのか誰にもわからない。命があることは当たり前ではない。

②命はつながっている。

この世に生まれてきた誰もがお母さんのおなかの中で過ごして生まれてきた。生まれて来てきたことは奇跡。皆さんが生まれた時、名前がついた時、家族の方は皆さんの誕生を祝い、喜んだことでしょう。命はつながってきたのです。

③命をどう使うか。

大切な限りあるこの命の時間を皆さんはどう使う？幸せになるために使ってほしい。人を傷つけたり悲しませることに使わず、助け合い、喜びを分かち合い幸せになるために命の時間を使ってほしい。人の命は簡単に傷つく。いじめている人は「こんなことしたいことではない。」とすぐに忘れてしまうかもしれない。でもいじめられた人は忘れることはできない。悩んで学校に行けなくなったり自分を否定して自ら命を絶つ人もいるかもしれない。人の命も自分の命も絶対に傷つけてはいけません。茂木中学校の生徒は皆お互いを助け合い幸せになるために命を使ってほしいです。

口は「人を励ます言葉や

感謝の言葉を言うため」に使う

耳は「人の言葉を最後まで

聞いてあげるため」に使う

目は「人のよいところを見るため」に使う

手足は「人を助けるため」に使う

心は「人の痛みがわかるため」に使う

命の授業 ～あなたも私も大切～

保護司さんの講話

「挨拶をしよう」「いじめは絶対にダメ」「3つの言葉」



毎年子どもたちは保護司さんのお話にしっかりと耳を傾けて真剣に聞き入っています。

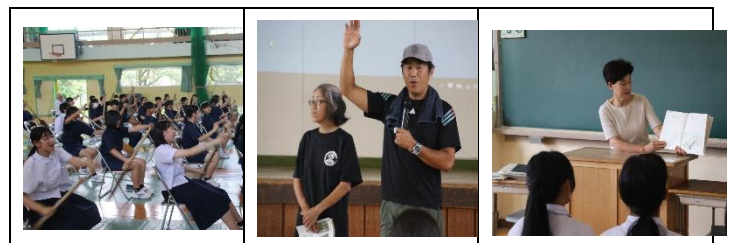
道徳の授業・ SNS の授業

それぞれの学年で命の道徳授業がありました。先生方の実体験のお話に涙ぐむ生徒もいたということです。



命の絵本読み聞かせ・ペーロン講話

トムソーヤズ、ペーロン保存会の皆様ありがとうございました。



6日ペーロン体験をもちまして、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を終了しました。ご協力ありがとうございました。